

日医工 戦略委員会で「日医工ビジョン(仮称)」とりまとめへ

中小・ベンチャー企業育成へ積極的提言

日本医用機器工業会（日医工・東京都文京区・理事長松本謙一）は、本年1月に「戦略委員会」設置し、医療機器業界の真の活性化と中小・ベンチャー企業の振興を目指して業界、行政、さらには広く社会に向かって具体的提言をすべく、厚生労働省・経済産業省の担当官のオブザーバー参加を得て議論を積み重ねてまいりました。提言の最終案は、7月の日医工総会に提案される予定ですが、4月8日の日医工理事会において中間報告がなされましたので、その内容についてお知らせいたします。

平成15年3月の「医療機器産業ビジョン」の発表以来、「革新的医療機器の開発」に向けてのさまざまな施策が進められてきましたが、医療機器業界の多くを占める中小企業へはその効果が十分及ばなかったのが現実です。

平成20年9月に発表された「新医療機器・医療技術産業ビジョン」では、革新的医療機器の開発に加え、改良・改善による国際的競争力の強化が盛り込まれたことは業界として評価するところですが、その視点からの具体的なアクションプランが未だ示されていないことから、今回の中間報告では「医療機器産業の活性化と中小・ベンチャー企業振興への提言案(日医工ビジョン)」の仮タイトルで、業界側からの逆提案を試みる内容となっています。

この中間報告では、とくに中小企業・ベンチャー企業の振興・育成による医療機器産業全体の底上げが強調されており、その土台となる日医工の基盤強化として一般社団法人化が提案されるなど、次ページのようなさまざまな提案候補が挙げられています。この中間報告にさらに検討を加え最終提案とする予定です。

医療機器産業の活性化と中小・ベンチャー企業振興への提言案(日医工ビジョン) 中間報告の内容

第 部 提言への経緯と目的

- (1)「医療機器産業ビジョン」からの6年間
- (2)「新医療機器・医療技術産業ビジョン」の求めに応じて
- (3)新旧産業ビジョンが見落とししているもの
 - 1)波及効果が期待しにくい「革新的医療機器」開発
 - 2)「東京タワー型」より「富士山型」の産業構造を
- (4)本提言策定までの経緯と目的

第 部 提案候補

- 提案1：日医工の一般社団法人化
- 提案2：「医療現場ニーズ」取り込み窓口の設置
- 提案3：技術相互利用事業の立ち上げ
- 提案4：事業協同組合の結成
- 提案5：緊急用医療機器備蓄制度の新設
- 提案6：審査制度の改善是正
- 提案7：企業規模別審査料体系の導入
- 提案8：環境対応型医療機器開発への助成措置の導入
- 提案9：ロープライスの普及タイプ製品の国産品優遇策
- 提案10：中小企業の輸出振興策
- 提案11：マスメディアへの積極的情報発信
- 提案12：医療機器の日の制定

「日医エビジョン」の位置づけ

